丹波市議会だより

たんばりんぐ

令和２年
1
No.60

TAMBA CITY

6月 9月
3月 12月
定例会は年４回

たんばりんぐ

採用！読モアイデア☆
表紙にもQRコードを

採用！読モアイデア☆
表紙に写真を

採用！読モアイデア☆
表紙にインデックスを

特集：高校生ならではの視点で「たんばりんぐ」にアドバイス！

第３回読モ会議…2
たんばりんぐのあゆみ…5
ココがギロンの論点…6
ココが聞きたい！一般質問…10
議場見学。議長さんに聞いてみよう…16
知ってる!? ギカイクイズ…17

新コーナー
採用！読モアイデア☆

TMG20 Change! カワル・ギカイ

読モ会議
読モ会議 たんばりんぐのあゆみ
ギロンの論点
ギロンの論点 審議結果
ココが聞きたい！一般質問
ココが聞きたい！一般質問
ココが聞きたい！一般質問
議場見学 ギカイクイズ
つぶやき川柳 議会ワード

高校生ならではの視点で「たんばりんぐ」にアドバイス！

読んでみたくなる作戦会議 第3回 読モ会議

DOKUMO-KAIGI

時代

氷上西高校生14名×丹波市議会広報広聴委員6名

高校生ならではの視点で読みたくなる「たんばりんぐ」について考えてもらおうと、第3回読モ会議を開催しました。今回は、氷上西高校生1年生と3年生の計14名が参加。広報広聴委員がサポート役を務める中、グループワークでは3年生が中心になり、同校ならではの学年を超えた仲の良さで、緊張気味の1年生の意見を引き出してくれました。

高校生らしいフレッシュな感性で、市議会を市民によりわかりやすく伝える方法をプロデュース（提案）。その様子をお伝えします。

カイセツ 読者モニター会議の略。第1回は柏原高校生、第2回は氷上高校生を対象に実施

第1部 みんなの意見を聞いてみよう

［テーマ］ズバリ☆たんばりんぐってどう？

氷上西高校生、広報広聴委員は自己紹介もかねてお互いの活動についてプレゼン。その後学年混合チーム3つに分かれ、「たんばりんぐ」のバックナンバーを読んで、「いいね！&だめだめポイント」について高校生から意見を聞きました。あらかじめ家で読んできて“ふせん”を貼ってくれている生徒も。しっかりと取り組んでくれている姿が印象的でした。

第2部 議会宣伝会議！

［テーマ］読みたくなるたんばりんぐを考えよう

授業の一環で、青垣地域の魅力を発信する情報誌「青垣ウォーカー」を作成するなど情報を「魅せる」工夫にも詳しい3年生。グループワークにも慣れており、緊張気味の1年生からさまざまなアイデアをひきだしてくれました。

第3部 IdeaBattle2019

［テーマ］コレ、実現したらオモシロイかも☆

発表は、クラブなどでグループワークの機会が多い3年生を中心に、全員が発表したグループも。グループの意見を模造紙にうまくまとめ、分かりやすく発表してくれました。

たくさんのご意見とアイデアをありがとう。

寄せられた「声」は今後の励みになりました。

いいね！&だめだめポイント

しいね！ポイント

- 表紙がシンプルでよい。
- 市民に身近な話題が載っていてよい。
- 一般質問などでQRコードがついていてよい。
- 以前より文字が大きくなって見やすい。
- 表紙や内容を工夫している。
- ホッチキス止めに変更になり、バラバラにならなくてよい。
- 紙面の中にイラストがたくさんあってよい。
- 写真があることで、記事が区切られていてわかりやすい。

だめだめポイント

- 中は色使いが単調で暗いイメージ
- 「たんばりんぐ」があまり知られていない。堅苦しいイメージ

NEW！ 読モアイデア☆

こんなコーナーがあったらいいな

- ○議員が市民の意見に答えるコーナー
- ○お題を決めて議員対決コーナー
- ○議員さんの面白エピソード
- ○４コマまんが
- ○もっと地域の方の意見を載せる。
- ○小中高の活動を載せる。
- ○丹波市のすごい人
- ○クロスワードパズルなど楽しめるもの
- ●家族で楽しめるクイズコーナー

採用！読モアイデア☆ 17ページ

若い人に関心を持ってもらうには

- ○ＳＮＳを利用する。
- ○ＹｏｕＴｕｂｅのチャンネルをつくる。
- ○若い人や学生が興味を持ちそうな記事を載せる。
- ○ＱＲコードを読み取ってスマホで記事を読むとポイントがたまる。

表紙

- ○表紙をアニメやイラストに。
- ○中高生にデザイン募集
- ●丹波市の風景や若者の写真を使う。
- ●表紙にもインデックスをつけてみては。

採用！読モアイデア☆ 表紙

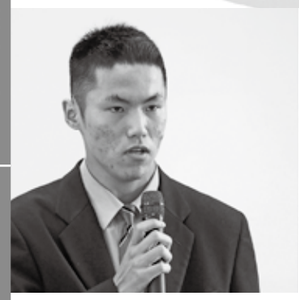
PR方法

- ○学校に配布する。→子どもといっしょに親も読む。
- ○学校の授業などで丹波市議会について取りあげてもらう。

その他の改善点

- ○目につくような字体でタイトル・みだしを。
- ○もっとカラフルに、中もカラーに。
- ○字を大きく、文字を少なくする。
- ○文字が密集しているページを連続させない。
- ●吹き出しや写真を使って対話形式に。

採用！読モアイデア☆ 16ページ



おかげさまで丹波市議会は１５年。議会だよりは第６０号。

リニューアルの変遷から見る

たんばりんぐのあゆみ

ロゴマークの変遷

平成17年3月発行創刊号

平成24年4月発行第30号

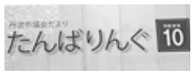
ロゴがカラフルでPOPに

平成25年2月発行第33号

議会だよりの文字が大きく

平成27年7月発行第42号

平成28年10月発行第47号



たんばりんぐを大きく、発行年月がわかりやすく

平成29年7月発行第50号

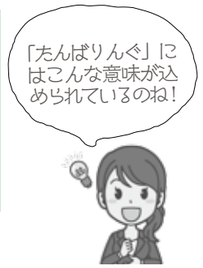
たんばりんぐの文字が太く

令和元年10月発行第59号

定例会の開催月を明記

平成 16 年 11 月に丹波市が誕生し、議会だより「たんばりんぐ」が創刊！由来は、旧６町が和やかに環に連なり、タンバリンのように、にぎやかに議論し、丹波市を創造していく市民の様子をあらわしています。

（創刊号編集後記より）



リニューアルの主なポイント

○ 一般質問「市政をただす」のスペースを 1/2 ページ→ 1/3 ページへ【17 号】

○ 一般質問に顔写真を掲載【30 号】

○裏表紙「市民の投稿」→各地域から一人ずつ「皆さんからのひとこと」に変更【40 号】

○ 表紙を写真からイラストに【42 号】

○ ばらつきがあったページ数を 20 ページに統一【43 号】

●平成 27 年 11 月市民モニター会議開催

○ 中の紙面レイアウトをリニューアルし、縦書き中心から縦横混在へ【44 号】

○ 表紙のリニューアル、インデックスの導入、一般質問を「ココが聞きたい！一般質問」にタイトル変更【47 号】

○ 裏表紙「丹波市のココに期待しています！」・傍聴者インタビュースタート、「Ｐｉｃｋ － ｕｐ！定例会」から「ココがギロンの論点」へのタイトル変更などほぼ現在のレイアウトに近い形に【49 号】

○ 50 号を記念して 50 人の市民から意見を聴く特集を【50 号】

●平成 29 年 11 月第 1 回読モ会議（柏原高校）開催

○ つぶやき川柳スタート（読モアイデア）、一般質問の顔写真を大きくし、一般質問中のライブ写真を採用【52 号】

●平成 30 年 7 月第 2 回読モ会議（氷上高校）開催

○ つぶやき川柳を市民から也公募（読モアイデア）【56 号】

○目次レイアウトを変更し、読んでほしい記事を大きく掲載、次回定例会のスケジュールをカレンダー形式に変更【59 号】

●令和元年 10 月第 3 回読モ会議（氷上西高校）開催

○表紙にインデックス掲載、クイズコーナースタート（読モアイデア）【60 号】

「読モ会議」を終えて

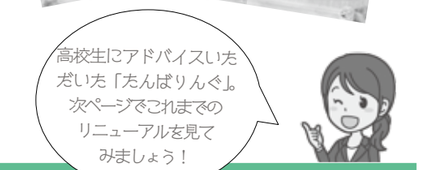
読モ会議も市内にある県立高校3校目。とてもアットホームで、わきあいあいとした雰囲気の高校でした。ご参加いただいたみなさん、本当にありがとうございました。

モニターとして「たんばりんぐ」をしっかり予習して、多くのアイディアを出してくれました。PR 方法まで提案があり、大変感動しました。また、「時間があれば、議会を傍聴してみたい。」という嬉しい声も。政治への関心を持つキッカケとなり、大きな意義を感じます。

会議に参加した生徒の中で、「たんばりんぐ」を今までに読んだことのある生徒はひとり。

議員によって、ひとりいてくれた！と嬉しくなる者、ひとりか・・・と残念に思う者。これからも一人でも多く「たんばりんぐ」を手に取ってギカイを身近に感じ、もっと知りたいと関心を持っていただけるよう、みなさんと共に進化させていきたく思います。

読モ会議の様子や報告書は議員控室に掲示し、議員みんなで共有。



たんばりんぐのリニューアルをＣＨＥＣＫ！

「自分の好きな表紙のたんばりんぐを持って集まってください」の声に、お気に入りの 1 冊を持って集合。シックな色づかいの58 号が人気でした。

お気に入りの１冊を手に記念撮影☆

［氷上西高生の感想］

＊みんなで話し合いができ、いろんな意見が出た。
＊自分の意見をしっかり言えた。
＊話しやすい雰囲気で意見を出しやすく、たんばりんぐを良くできたと思う。
＊たんばりんぐに興味を持った。
＊たんばりんぐが親しみやすいと感じた。
＊今回の読モ会議に参加してたんばりんぐのことが知れたので、１回読んでみようと思った。
＊たんばりんぐが改善されること、期待しています。
＊議員の方が話しやすく接しやすかった。
＊議員さんに意見を言える機会がないので、いい体験ができてよかった。
＊時間があれば、議会を傍聴してみたい。

←読モ会議の様子や報告書はHP で見ることができます。

組織改編で丹波市はどう変わる？

より一層 横の連携強化に努めます

12月定例会では、高齢化社会に対応するための施策や、子育て施策など市が抱える重要課題に柔軟に対応するため、ミルネの開設に伴う空き庁舎の有効活用なども考慮しながら、連携が図れる組織になるよう4月から組織改編する提案がありました。

今回の提案では、分野別の縦割りではなく、横断的に機能を重視した組織をめざして、課内や部内にとどまらない移動も見られるなど大規模な改編となります。市民への丁寧な周知が必要です。

12月定例会 ココがギロンの 論点！

組織改編の主な論点はこの4つ！

1 支所の地域づくり推進係は市民活動課へ

今まで、各支所にあった、地域づくり推進係は廃止され、市民福祉係が支所係になります。地域づくり事業やまちづくり指導員は市民活動課に集約されます。
柏原支所は、柏原住民センターへ移転します。

問 総合計画では、住民自治や地域自治の進展を支援する内容でありながら支所から地域づくり推進係を廃止するのはどうなのか。

答 地域づくり事業及びまちづくり指導員を市民活動課に集約しますが、地域に出向き推進する体制をとっていきます。

2 健康部と福祉部を統合し健康福祉部へ

健康部と福祉部を健康福祉部に統合します。4月からの統合に先立ち、春日庁舎にあった福祉事務所は令和２年２月３日に旧氷上保健センターに移転します。旧氷上保健センターは本庁第２庁舎となります。

問 健康福祉部が、本庁第２庁舎とミルネに分かれての配置となるが、どのように連携を図るのか。

答 同じフロアに配置するのがベストと考えますが、物理的な問題もあります。常に協議する場を設け、連携を密にすることにより、解消できると考えます。

3 子育て支援課は教育部から健康福祉部へ

子育て施策は母子保健との関係が深く、より一層の連携を図るため、子育て支援課が教育委員会からミルネ内の健康福祉部へ移管されます。

問 認定こども園の指導分野は教育委員会に残り、運営分野が健康福祉部に移管されるが、連携は大丈夫なのか。

答 幼児教育・保育は、今まで通り教育委員会が小学校への円滑なつなぎや連携を図ります。子育て支援課は、少子化対策などで各分野との連携強化の面や母子保健との関係が重要であるという考えから健康福祉部に移管しますが、教育委員会との連携を密にします。

4 水道部と建設部下水道課を統合し上下水道部を新設

水道部と建設部の下水道課を統合し、上下水道部を新設して、経営管理課、水道課、下水道課の３課にします。
上下水道部は、春日庁舎で執務をとります。

問 上下水道部として統合することで、業務や経費について増えるものもあれば、減るものもあると思うが、どれくらいの経費削減になると見込んでいるか。

答 組織統合することによって、経理・管理部門の共通的な経費の削減や人員配置ができることになります。具体的にはまだ試算できていませんが、今後検証を行なっていきます。

丹波市議会初の会期延長

今回の無償貸付の提案は、急きょ追加議案として提出されたことにより、所管する総務文教常任委員会で十分な審査時間が取れずやむなく会期を延長することになりました。議会は、市当局の議案提案に対する姿勢に大きな問題があったとして附帯意見をつけて厳しく指摘しました。

附帯意見として、議案提案については議会が十分審査できるよう求めたほか、旧遠阪小校舎の利活用について、以下の点について配慮しつつ事業が進められるよう、市として事業者に対し十分な指導をする旨申し入れました。

・隣接する国道からのアクセスや十分な駐車場の確保及び施設までの導線など、利用者及び近隣住民の安全や生活環境が守られるように努めること。
・消防設備等の設置や浄化槽の設置、あるいは古材持込に伴う廃棄物の扱いや洗浄水の処理など、施設の安全面、衛生環境について万全を期すこと。
・設立を予定されている「遠阪小学校の未来を考える会」を中心に、災害時の避難所設置や地域活動など地元の意向を十分に反映できるように努めること。

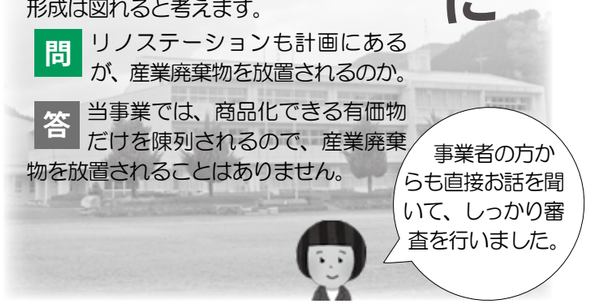
旧遠阪小校舎の利活用がついに決定

食や文化の複合交流施設に

株式会社リボーンズ北近畿（丹波市）が、4月から旧遠阪小学校校舎を活用し、事業を展開されることとなりました。

事業内容は、解体の際に出る廃材をメンテナンスして販売するリノステーション、能楽や茶道などの伝統文化に触れられるスペース、地元食材を提供するレストランや朝市など地域に根ざした提案となっています。

これで、廃校となった遠阪・神楽・芦田の各小学校舎がすべて利活用されることになりました。



問 近隣住民や利用者の交通安全の確保など、地元との合意形成は図れるのか。

答 混雑が予想されるときには警備員を配置するなど、安全には万全を期すよう指導してまいります。地元住民も交えて協議される予定ですので、合意形成は図れると考えます。

問 リノステーションも計画にあるが、産業廃棄物を放置されるのか。

答 当事業では、商品化できる有価物だけを陳列されるので、産業廃棄物を放置されることはありません。

事業者の方からも直接お話を聞いて、しっかり審査を行いました。

防災行政無線のデジタル化

工事金額を減額する変更

戸別受信機や可搬型Ｗｉ－Ｆｉ機器等の数量減や、テレビ会議システム等の追加により、工事請負金額を20億6，981万5，680円に減額する議案提案があり、可決しました。

戸別受信機の受信状況が悪く放送内容が確認できない場合などは、市へ連絡すれば対応されます。

問 プロポーザル方式で契約されたのに変更追加があるのはおかしくないか？

答 全域をカバーする一番優れた提案をした業者と契約しました。豪雨災害などを経験してテレビ会議システムの充実を図る必要性が生じ、有利な財源である起債の活用ができるため、システムの追加整備をするものです。

問 テレビ会議システムの充実とはどういった内容か？他市と比べて水準は。

答 災害対策本部に集約される防災情報や被害状況、河川等の現場状況を各支部・消防本部等ともリアルタイムに共有できる、県下でも優れたシステムになります。

カイセツ プロポーザル方式：複数の者に企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること

12月定例会

ココがギロンの論点！

平成30年度決算不認定のその後
講じた措置について市から報告

平成30年4月に地方自治法が一部改正され、決算が不認定となった場合に、必要な措置をしたときには、その内容を議会に報告し、公表もしないといけなくなりました。これを受けて、「決算不認定に係る措置について」として報告を受けました。

また、「空き家利活用地域活性化事業補助金」については、職員で構成された庁内検証委員会から併せて検証と改善事項の説明を受けました。

問 空き家利活用地域活性化事業補助金の申請内容に不備があったのではないか。

答 確かに申請として不十分な点はあったと認識しています。しかし、交付申請時の内容等については大きな手続き上の問題があったとまでは認定できないので補助金の返還は求めず、利活用が本来の目的どおり行われるよう指導等をしています。

問 新エネルギー普及事業補助金について、より一層の的確な指導とチェックを実施とあるがどういうことか。

答 過去に、補助金よりも人件費が多くなっている点やＮＰＯの会計を明確に把握できていない点等の指摘がありました。効果を上げるための指導の回数を増やし、会計状況を細かく把握するようにしました。

丹波市トップとしての責任
市長・副市長の給与減額

平成30年度決算不認定や議案訂正・撤回、公文書改ざんといった一連の不祥事などを受け、谷口市長はその責任を取り「市長・副市長の給与を10%減額（3カ月間）」する議案が提出され、賛成多数で可決しました。

問 当初「市長は20%、副市長は10%減額（1カ月間）」と記者発表されたが、なぜさらに重くしたのか。

答 市長の包括管理監督責任者としての責任の重みを、この間考え続けてまいりました。記者発表後、職員に処分を下す中で自身の反省の期間を長くしたさらに厳しい処分をしました。副市長も自らの責任を取るとの申し出があり、今回の提案となりました。

コンプライアンスについての
調査報告

山南地域統合中学校の場所の決定に係る市長部局と教育委員会との協議録が作成されていないことに関して要望書が出され、総務文教常任委員会で実態を調査し次のとおり指摘しました。

1　政策決定文書の不作成が繰り返されていることについての市長及び教育長の責任は極めて重い。

2　公文書の作成は市民への説明責任を果たすものであり、情報公開と一対となったものである。組織のあり方を検討し、公文書の作成・管理について、職員の理解と浸透を十分に図られたい。

3　議会は、公文書による確かな根拠を元に調査し議論することが重要であることから、市当局に対し政策形成過程の透明化を求める。

■議案の審議結果

議案の審議結果

審議結果

全員賛成で可決

全員賛成で可決した議案

10月臨時会

	議　案
調停	調停の成立…補助金返還請求調停事件
変更契約	黒井小学校西校舎大規模改造工事…窓ガラス遮熱飛散防止フィルム貼付工事等の追加により110万7,700円増額
その他	市有財産の無償譲渡（新道貝区）

12月定例会

	議　案
予算補正	後期高齢者医療特別会計（2号）
	看護専門学校特別会計（2号）
条例制定	水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例
条例改正	公衆便所条例
	下水道条例
	特別会計条例
	災害弔慰金の支給等に関する条例
条例廃止	復興プラン策定委員会設置条例
	農業共済条例
指定管理	市立市民プール及び青垣総合運動公園→管理者：㈱エヌ・エス・アイ
	市営駐車場→管理者：丹波市デマンド会
	市立神楽の郷交流センター→管理者：（財）神楽自治振興会
	市立旧氷上高等小学校校舎→管理者：㈱まちづくり柏原
人事案件	教育委員会委員の任命　安田真理氏（氷上町新郷）
締結契約	青垣学校給食センター食器・トレイ洗浄機等購入…契約者㈱中西製作所神戸営業所　契約額6,370万1,000円
変更契約	防災行政無線デジタル化等整備工事…個数減やテレビ会議システム追加により378万4,320円減額
変更計画	新市建設計画
変更協議規約	兵庫県市町村職員退職手当組合
撤回	旧慣による市有財産の使用廃止（横田自治会）
	市有財産の無償譲渡（横田自治会）
	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
	特別職に属する非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例
訂正	下水道事業会計補正予算（3号）
	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定
その他	市立あおがき農産物等加工直販施設の廃止　特
	市有財産の無償譲渡（大名草自治会）
	市有財産の無償譲渡（宗教法人神池寺）
	字の区域変更及び廃止

賛否が分かれた議案と審議結果

議案		結果	賛成	反対	小川庄策	渡辺秀幸	大西ひろ美	近藤憲生	山名隆衛	大嶋恵子	吉積毅	広田まゆみ	小橋昭彦	谷水雄一	垣内廣明	太田一誠	太田喜一郎	藤原悟	須原弥生	西脇秀隆	西本嘉宏	奥村正行	前川豊市	林時彦
令和元年度補正予算	一般会計（4号）	原案可決	18	1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険特別会計事業勘定（2号）	原案可決	18	1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険特別会計保険事業勘定（3号）	原案可決	18	1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業共済特別会計（2号）	原案可決	18	1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	下水道事業会計（3号）	原案可決	18	1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
条例の制定	行政組織改編に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	-
	特別職の職員で常勤の職員の給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例	原案可決	18	1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
条例の改正	行政組織条例	原案可決	16	3	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	-
	職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例	原案可決	18	1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	原案可決	18	1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	アフタースクール実施条例	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
計画策定	第２次総合計画後期基本計画	原案可決	16	3	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	-
	第２次教育振興基本計画	原案可決	16	3	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	-
無償貸付	市有財産の無償貸付（旧遠阪小学校）→相手方：㈱リボーンズ北近畿	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※○は賛成、●は反対、退は退席、　は賛成・反対討論を行った議員。委員会と賛否が異なる場合は、委員会採決も掲載しています。
※議長（林時彦）は議事進行を行うため、特別多数議決特を除き採決には加わりませんが、賛否同数の場合のみ議長も賛否を表明します。
※特別多数議決：重要な公の施設の廃止など、特に重要な議案については過半数または３分の２以上の賛成を必要とし、議長も採決に加わります。

ココが聞きたい！一般質問

一般質問は、議員個人が自分なりの問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、16名が私たちの生活にかかわることについて質問や提言をしました。

テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく議員が自由に決め、「通告書」に書いて締切日までに提出します。

制限時間は60分

一人あたりの制限時間は、市からの答弁も含め60分です。

ホームページに質問項目を掲載

質問項目は、事前にホームページに掲載。また、傍聴者には、質問要旨をお渡ししています。

一般質問の様子（ライブ中継・録画映像）は市議会ホームページからみることができます。［検索ワード］丹波市議会インターネット中継

情報化時代に備えた市政運営を

小橋　昭彦（おばし あきひこ）議員

答 市民の豊かな暮らしを実現するため、積極的に取り組みます。

問 丹波市が持つ情報を加工しやすい形式で公開し、市民が利用できるように準備を。

答 市が持つ情報を公開する「オープンデータ公開サイト」をリリースします。まずはAED設置箇所や医療機関一覧など政府が推奨するデータや防災情報システムから得られる気象情報から始め、順次充実していきます。

政府によるオープンデータのロゴマーク。缶（＝官）を開いた様子を表している。

問 国全体で行政のデジタル化を進めている。市でも戦略的に取り組むとともに、専門人材の登用も必要ではないか。

答 業務効率化や市民サービスの向上につながることから、市でも戦略的に取り組みます。担当する「情報管理係」を「情報政策係」に改め、人材の充実も含めて検討します。

問 教育分野でもICT支援体制の充実が求められる。

答 新学習指導要領でも明記されており、ICT支援員の増員など支援体制の充実に取り組みます。

森林環境譲与税を使う施策は

西脇　秀隆（にしわき ひでたか）議員

答 地域のニーズや森林の状況に応じて、効果的に活用します。

問 今年度から森林環境譲与税が年3400万円、市に入ってきている。これを機に森林整備を一層進めるべきではないか。

答 従来からの造林事業補助金や県民緑税に加え、森林環境譲与税を有効に活用し、森林整備に一層取り組んでいきます。

問 地元負担のない補助金メニューを自治会や団体に周知してはどうか。

整備が遅れている森林

答 市のホームページや広報誌でお知らせし、また林業普及推進員からも紹介していきます。

教育委員会等のコンプライアンス上の問題

問 山南地域統合中学校建設位置に関わり、庁舎内部協議が文書として残されていないのは問題だ。この責任をどうとるのか。

答 市長や市長部局と教育委員会との協議の記録をとっていないことは問題であったと認識しています。情報公開審査会からの指摘を真摯に受け止め今後取り組んでいきます。

将来の負担軽減のために庁舎建設を

奥村　正行（おくむら まさゆき）議員

答 遅くとも令和6年度を目途に基本構想を策定したいと考えています。

問 統合庁舎建設は、大多数の市民が必要性を理解されている。これまで先送りされている。1年でも早く進めるべきだ。

築41年経過している現本庁舎

答 分庁舎は統合庁舎方式と比較して経費が多く発生し、職員間の意思疎通不足の原因となっています。市民説明会やパブリックコメントでは大きなご批判の声はなく、ご理解をいただいたものと受け止めております。

次の市長選の争点は

問 来年の市長選挙は統合庁舎建設が争点になると思うか。

答 どなたが出馬されても争点になると思います。

特定用途制限地域の見直しをすべきだ

問 都市計画マスタープランの改訂に合わせ、地域の特性に応じた土地利用のために見直しをすべきではないか。

答 利便性の向上と持続的かつ有効的に都市機能が発揮されるよう、変更の必要性も含めた土地利用方策の在り方などを決定していかなければと考えています。

末病産業を地域包括の挑戦施策に

太田　一誠（おおた いっせい）議員

答 地域未来投資促進法基本計画で包括ケアと関連し取り組みます。

問 未病産業を市はどのように捉え、包括ケアを新産業構築創造につなげられないか。

答 地域未来投資促進法基本計画の健康・ヘルスケア分野の中で、地域包括ケアシステムとの関連も意識しつつ、医療、介護等健康産業に加えてスポーツや食につながる分野など、既存企業の振興や誘致に努めます。

ボランティアにより整備される岩屋山入口

北近畿・但馬をつなぐ道路等の整備は

問 北近畿・但馬をつなぐ交流人口増にR429・小和田橋周辺の整備計画と高源寺や岩屋山・パラグライダーの周辺整備は。

答 R429は、兵庫県・京都府ともに「新規着手妥当」とされ、市は小和田橋周辺整備は第2次道路整備計画の後期と位置付け、令和3年から7年でR429のアクセス道路として小和田平野線の改良を優先し着手します。パラグライダーの周辺整備は、現場確認や登山道等を再度点検し、施策の検討も行います。

カイセツ　未病産業：心身の状態を健康と病気に明確に分けるのではなく、連続的に変化している状態のことを未病といい、健康産業や医療産業を補う新しい考え方の産業が未病産業

予防の視点で児童虐待防止施策を！

広田まゆみ（ひろた）議員

答 啓発講演会や、必要時に要対協議会で支援の方向性を検討します。

問 丹波市における予防対策は充分か。

答 要対協議会や個別検討会議のほか、予防も大切と言うことで、知識面では、講演会なども行いながら、各機関とも連携を深めていきたいと思います。

子ども虐待防止のシンボルマークであるオレンジリボン

問 丹波市では、夜間の対応はどうしているのか。

答 緊急の場合は対応できるように連絡調整をしており、担当者（家庭児童相談係員）が現場に出向くこともあります。

柏原病院跡地有効活用

問 跡地は保健福祉施設を誘致すべき。丹波市に高齢者の暮らせる施設や場所はあるのか。

答 敷地全体の有効活用を、今後も引き続き「県立柏原病院跡地活用推進検討会」で要望していきます。高齢者の暮らせる場所があるのかについては、介護保険事業計画の来年度の策定時に高齢者の状況に合わせ施設も含めた介護サービス等の整備についても検討する予定です。

カイセツ　要対協議会：要保護児童対策地域協議会（たんば子ども安心ネット）の略

＊一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。

山名（やまな）　隆衛（たかえい）議員

市島支所の今後をどう考えるか

答 市島支所の位置については、市島地域自治振興会と協議の上決定します。

問 市島支所と市島農村環境改善センターは同時期に建築された建物だが、危険施設であること、丹波市財政の将来状況から「廃止・解体」の方向にあるのか。

答 公共施設保有量の削減を進めているところです。市島農村環境改善センターは、施設使用者の安全を確保できないため早期に施設を廃止し、解体したいと考えています。市島支所は、耐震改修は実施しておりません。今後地元のご意見を十分お聞きしながら慎重に検討します。

市島支所（市島町誌より）

愛育館・ライフピアいちじまの管理状況は

問 愛育館・ライフピアいちじまの雨漏り対策は、今後どのようにされるのか。

答 愛育館の全面改修には多額の費用が必要なため、実施するか、整備方針を前倒しして建替をするか検討します。ライフピアいちじまの雨漏りは、状況を見ながら必要な修繕を実施します。

藤原（ふじわら）　悟（さとる）議員

自治体単独での今後の行政運営は

答 単独でフルスペックの行政サービスを維持するのは困難と考えます。

問 今後、さらなる効率的な行政運営を行うには、市単独だけでなく、近隣市・町との広域連携が必要では。

答 今後検討が必要となるのは、より専門的で高度なサービスが求められる分野や広域化による財政運営の安定化が見込まれる分野です。各部署が課題にふさわしい広域連携のあり方を探り、主体的に調整していくことが有効であると考えます。

テレワークの推進を

問 情報通信技術を活用し時間や場所の制約を受けずに柔軟に働くテレワークを市職員や障がい者の働き方として推進を。

答 市での導入は、セキュリティや環境面での課題があり、サテライトオフィスを試験的に実施するなど、慎重に判断します。障がい者のテレワークでの就業が実現可能かを判断する十分なデータがなく、障がい者施策推進協議会就労支援部会等で相談します。

テレワークのイメージ図

カイセツ　フルスペックの行政サービス：すべての行政分野や市民ニーズに、単独の自治体で対応すること

須原（すはら）　弥生（やよい）議員

認知症との「共生」の取組みは

答 認知症サポーターを増やし、まちぐるみで支える体制を構築します。

問 認知症カフェが地域で定着、持続できるように運営、会場費等の補助はできないか。認知症サポーターが地域の支えあいの担い手として更なる活躍ができる仕組みづくりを。

答 カフェの運営が自立、継続できるように、金銭的支援ではなく、人のつながりへの支援や課題解決等で関わっていきます。また、認知症サポーターは、当事者やご家族の理解者、応援者と考えており、更なる養成講座は現在ありません。今後サポーターを増やしつつ、コンビニ、医療機関、事業所等に協力を依頼し、見守りの輪を広げていきます。

市内に4つある認知症カフェ

高齢者肺炎球菌ワクチン接種率の向上を

問 高齢者の死亡率が高い肺炎予防のための定期接種制度が、令和5年度まで延長されたことで、今回初めて対象となる65歳の方への丁寧な周知を。

答 令和2年1月を目途に未接種の方に接種勧奨通知を再送付し接種率の向上に努めます。

＊一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。

大嶋（おおしま）　恵子（けいこ）議員

市立小学校遊具の老朽化対策は

答 限られた学校予算の中では、整備が追いついていない状況です。

問 小学校にある老朽化した使用禁止状態になっている遊具はいつ撤去し、いつ新しい遊具が設置されるか。

答 本年度危険と判断された遊具は4基あり、できる限り早い時期に撤去する予定です。新しい遊具の設置は限られた予算の中使用状況も勘案しつつ必要性も十分検討し、今後も引き続き適正な維持管理に努めます。

現在使用禁止の学校遊具

AED設置場所の周知を

問 市内全AED設置場所を市は把握しているか。また、市民への周知方法は十分か。

答 AED設置者に届出義務がないため全てを把握するのは困難です。現在、市のHPに「丹波市AEDマップ」として設置場所を公表しています。

問 生命に係るAED設置専用の補助金制度はできないか。

答 防災資機材の購入に対する一部助成として行っておりAED設置だけに特化した補助金制度は今のところ予定していません。

吉積（よしづみ）　毅（つよし）議員

石生方向への市道渋滞の緩和が必要

答 議員指摘の県道青垣柏原線の渋滞解消も重要であると考えます。

問 市道特29号線✎の渋滞緩和や子ども達への安全のため車両誘導できる県道、国道の道路拡張を積極的に要望すべきでは。

答 道路拡幅工事は難しいと考えますが、稲継交差点の渋滞解消・緩和は市道の交通量減少には有効であると考えます。今後国道175号東播丹波連絡道の早期事業化と合わせて国、県に要望していきたいと考えます。

朝夕渋滞する横田交差点

救急安心センター事業の推進を

問 救急安心センター事業（#7119）や全国版救急受診アプリ「Q助」を活用して救急医療の充実を図れないか。

答 #7119により救急車の適正利用の推進や適切な病院を受診する相談ができます。国内の先行例にもあるように県単位などの広域的な実施を期待するところです。「Q助」の活用や丹波圏域の小児科相談ダイヤル・夜間相談ホットラインも周知し、救急体制の充実に努めたいと考えております。

カイセツ　市道特 29 号線：市辺交差点から水分れ交差点までの東小学校前を通る市道

太田喜一郎（おおたきいちろう）議員

激甚化する台風、豪雨への備えは

答 58年災✎規模の災害に耐えられるように整備しています。

問 台風19号による豪雨災害は、堤防の決壊等により「西日本豪雨」を大きく超えた。半面、首都圏では100年に一度の大雨を想定した治水工事が効果を発揮した。丹波市も同様に堤防や河川、池等の危険個所を検証し事前に堤防のかさ上げや補強、貯留施設等に対応しては。

答 「総合治水」に力を入れ事前に危険個所を把握し、堤防の補修や雑木・土砂撤去等を実施します。

問 北柏原川の治水対策や東部雨水ポンプ場の進捗状況は。

答 北柏原川の調節池は来年度に工事を予定、東部雨水ポンプ場は詳細設計がほぼ完了、工事は来年度着手予定です。

東部雨水ポンプ場（氷上中央）の建設予定地

新庁舎整備の状況は

問 新庁舎整備等に関する動きはどうか。

答 令和2年度から建設位置及び庁舎に備える機能や役割の検討を始め、令和6年度を目途に基本構想の策定を考えています。

カイセツ　58 年災：昭和 58 年 9 月の台風 10 号洪水で春日・山南で大きな被害が発生。兵庫県の丹波東部（竹田川流域圏）地域総合治水推進計画によると、春日観測所において最大 24 時間雨量 277 ミリを記録した

＊一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。

前川　豊市（まえかわ　とよいち）議員

柏原支所移転は凍結すべきだ

答　来年四月に移転することは、決定しています。

問　柏原支所の移転について地元柏原地域住民の意見は、移転に賛成する意見もあるが、中には、「移転しなくてはいけないのか」とか「支所移転は凍結できないのか」などの意見もある。他の五つの支所は全てその地域の中心地にあり、柏原も現在地から移転すべきでないのではないか。

答　本年二月から三月にかけて、住民団体や複数の自治会から柏原支所を柏原住民センターに移転してほしい旨の要望書が提出されたほか、個別にもそういった市民の声をお伺いしたところです。

柏原支所を柏原住民センターに移転することで、支所の担う行政窓口サービスと住民センターや図書館、アリーナ等のサービスを一体的に利用することが可能となり、住民の利便性が増すことや防災上のメリットもあり、市としても、一元的な管理が可能となります。

昭和10年に建てられた柏原支所

児童虐待を減らすさらなる取組みを

答　二者※が情報共有し、共同して支援や見守りを継続しております。

問　児童虐待を防ぐためにも、子育てに対し、妊娠期から自発的に申し出ない人への積極的訪問に取り組むべきではないか。

答　不特定多数ではなく、ハイリスクアプローチの視点で関わっております。妊娠期より訪問指導が必要であると判断した方や希望される方に対して支援や見守りをしております。今のところ現体制で寄り添っていきたいと考えております。

こどものSNS利用への注意喚起を

問　「8年生まで待とうの会」や「スマホ18の約束」など、こども・保護者への情報提供や繰り返しの啓発が必要と考えるが。

答　親子で学ぶ情報モラル講座を実施し、丹波市版ネット利用に関する家庭ルールブックを配布しております。小中学生のうちから、十分に指導・啓発することが大切です。今後こども・保護者・先生向けの緊急アピールもしていきます。

児童虐待防止ポスター「189」へお電話を

※二者：健康課母子保健係と子育て支援課家庭児童相談係

西本　嘉宏（にしもと　よしひろ）議員

住環境との調和に配慮した条例を

答　一定の制約は必要であり、条例についても研究していきます。

問　太陽光発電が、地域環境に及ぼしている状況の把握は。

答　フェンス未設置、パネル反射光、パネル架台基礎強度不足、土砂崩れ、雑草等の相談が寄せられています。

問　第2次総合計画（案）は、太陽光発電を4200件としているが、住環境や景観との調和に配慮した「条例」が必要である。

市内一部地域の太陽光発電

答　温暖化防止の観点から太陽光発電を普及し広げていきます。ただ、市民の暮らしや良好な景観と住環境との調和を図れるよう、条例についても研究していきます。

固定資産税の特例措置で山林地籍調査を

問　山林部の地籍調査を促進するうえで、調査後の固定資産税の増額による地籍調査への影響緩和のため、固定資産評価基準の「特例措置」を適用しては。

答　納税者間の公平性を保つため、特例措置は適用しない方針ですが、地籍調査推進のために、今後の検討課題とします。

＊一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。

小川　庄策（おがわ　しょうさく）議員

働き方改革に向けRPAの導入は！

答　セミナー参加や先進自治体導入事例等を調査研究している段階です。

問　RPAシステムを市役所業務への導入に向けた取組みは。

答　RPAは、繰り返し行う業務、大量データを処理する業務、ルールに基づいた業務を対象に実証実験を実施している自治体からは効果があると報告もあります。本市においても効果が見込まれる業務について調査検証し、導入と併せて業務フローの見直し、業務の生産性の向上を進め、定型業務が自動化でき、より市民サービスの向上と行政コストの軽減に期待できることから、積極的に検討を進めます。

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは

保育環境の安全整備

問　9月に調査された保育環境の安全整備への実施は。

答　園からの報告は39箇所あり、法令や道路の構造上施行することができないものや、民有地のため用地買収を伴うもの等を除き、対策が必要である箇所を市道8箇所、県道16箇所、計24箇所を決定しました。国の予算措置が取れ次第、早期に施工実施予定です。

谷水　雄一（たにみず　ゆういち）議員

市の実情に応じた防災監設置を

答　必要性は感じており、ポストの置き方も含め検討します。

問　災害対策本部機能を強化するための取組みは。

答　災害対策本部が有効に機能するためには、①必要な情報を迅速かつ的確に入手できること②その情報を適切に整理分析できる能力を有すること③市民への災害対応の行動を促す有効な手段を有すること、を重要と考えます。そのための、システムの充実、専門的な研修への職員研修及び派遣、市民への防災意識の向上につながる取組みなどを進めています。

防災・危機管理監等の役割

問　防災監設置状況は。

答　防災担当部署の職員体制を充実させなければ効果が発揮できないため、来年度の設置は見送りました。

問　防災・危機管理のシステム構築や計画策定の必要なタイミングで設置、相談等柔軟に検討しては。

答　常駐すべきポストでなく必要に応じた運用が可能であるならば、必要性は以前から考えておりポストの在り方など含めて検討したいと考えます。

＊一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。

放送日
1月28日（火曜日）
午後8時30分～
※再放送は
2月1日（土曜日）
午後3時30分～

FM 805たんば で
「たんばりんぐ」情報発信中！

「議員さん こんにちは！」内
『ギカイ・ステーション』で
議会をもっと
身近に☆

いつでもどこでもスマホで
「たんばりんぐ」が読める

マチを好きになるアプリ
マチイロ

※「マチイロ」の利用料は無料です（通信費は利用者の負担となります）。
※全国500を超える自治体で導入されているスマートフォン用無料アプリです。すでに市の広報紙も配信されており、広報たんばやたんばりんぐが発行されると、自動的にお知らせが届きます。また、ほかの自治体の広報紙を見ることもできます。
（※注）アプリを運営する（株）ホープが掲載する広告が表示されますが、内容に関しては一切責任を負いません。

議員も日々、勉強しています。

議員研修

丹波市議会では、議員力向上のため、年に数回議員研修会を実施しています。

本年第２回目となる今回は、長野県飯綱町前議会議長の寺島渉さんをお招きし、「議会力、議員力の発揮へ～地方議会改革を実践する～」と題してご講演いただきました。

講演後の質疑応答では、議員から出されたさまざまな質問に丁寧にご回答くださり、予定時間をオーバーしてしまうほど、充実した研修となりました。

知ってる!?

ギカイクイズ No.1

２～４ページで特集しました第３回読モ会議では、家族みんなで楽しめるクイズを掲載してはどうかとのアイデアをいただきました。

そこで、今回から新企画「知ってる!? ギカイクイズ」をスタートします。ぜひ子どもさんやお孫さんと考えてみてください。

【問　題】

議員の仕事のうち、まちがっているものはどれでしょう？

①みんなの意見を聞く。
②みんなのルールを決める。
③みんなのお金が正しく使われているかチェックする。
④自分のやりたいことだけをする。

第３回読モアイデア☆

※答えは 19 ページ

民生産建常任委員会が先進地に学ぶ

視察報告

10/ 9～10 民生産建常任委員会

地域包括支援センター、障がい者福祉、オフセット・クレジット事業について学ぶ

大東市は地域資源を存分に活用した総合事業を行っています。介護サービス利用者が日常生活に戻れるようサポートを行い、介護給付費を削減するなどの先進的な取組みは、当市の参考になりました。

大阪府大東市「地域包括支援センターの取組み」

奈良県生駒市「都市公園と障がい者福祉」

生駒市では、官と民が一体となって生駒山麓公園内で、障がい者の就労継続事業を展開しています。

三重県大台町「オフセット・クレジット(J-VER) 事業」

大台町は町土の約 90% を森林が占めており、カーボンオフセット事業にいち早く取り組んでいます。森づくりに必要な技術の促進にも取り組み、当市の参考にできると感じました。

リサイクル資源を持ち込むと、量に応じてポイントがもらえるんだって。ポイントは金券に交換できるし、私たちにもできる CO2 削減に向けての取組みですね。

※オフセット・クレジット（J－VER）事業：平成 20 年 11 月に環境省が立ち上げた制度で、自らの CO2 排出削減が困難な部分を他の地域での排出削減・吸収で相殺する取組み（カーボン・オフセット事業の中の取組みの一つ）

J－クレジット HP

議場見学。

議長さんに聞いてみよう！

春日部小３年生のみなさんが、議場見学に来てくれました。

はじめに、議長から、「本当は議場では帽子、コートなどは脱がなければなりませんが、議長が許可をすれば大丈夫です。みなさんには帽子の着用を許可します。」との説明がありました。

市議会や議員について説明を受けた後、かわるがわる議長席に座り、その座り心地やいつもと違う景色に児童たちは大興奮！

こどもたちと議長のやりとりをご紹介します。

議会は何時からですか？

何人働いていますか？

なぜ録音するのですか？

議員さんが座るイスはすわり心地がよくて、学校の椅子もこんな椅子がいいです。

議会は、普段は９時 30 分からですが、一般質問という、議員が質問をする日は９時から始めます。終わりは会議が終わるまでなので、夜までかかるときもあります。

議員は、丹波市になったときは 30 人いましたが、人数の見直しをして今は 20 人です。また、議会は議場に来られなくてもインターネットで様子が見られるように、カメラで録画したり録音しています。

ギカイってどんなところ？

議　場

議員控室

市民がなかなか足を踏み入れる機会の少ないギカイ。

本庁舎３階フロアには、本会議を行う議場や委員会を行う委員会室のほか、議長室や議員控室、議員が調査研究するための図書室があります。

議員控室は、他の市議会では、会派ごとに部屋が分かれているところもありますが、丹波市議会では、休憩中などは全員１つの部屋で待機します。

議長室

議員図書室

会派：同じ考え方や意見を持って活動するグループ

Shigikai Information

教えて！議会ワード No.3

今回は議案の審査や調査を行う委員会について見てみましょう。

議会で使われるコトバって難しい…

丹波市議会では、市民のみなさんに開かれたわかりやすい議会をめざして、議会改革を進めています。ただ、議会で使われる用語が難しいとのご意見もあり、お知らせします。

委員会ってなに？

本会議で全議員によって審議を進めるより、議会の内部に複数の組織を設けてそれぞれの組織における分担を決め、その分担に従って審査をしていくことが議会にとってより能率的・効率的に審議を行うことができます。この本会議の下審査機関を委員会といい、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の3種類があります。

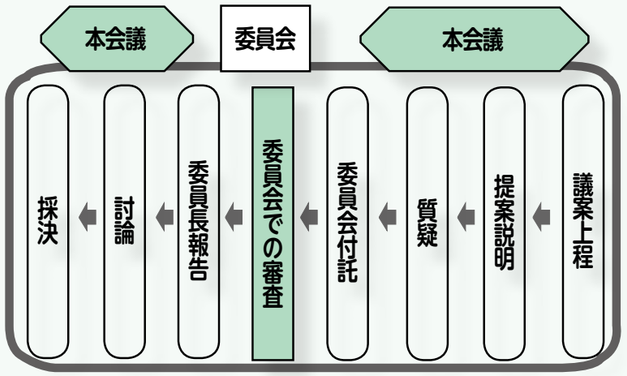
1 常任委員会

常任委員会とは、地方公共団体の事務全体を建設部門や厚生部門などに適宜区分けし、その区分けした部門ごとの事務に対し、自主的に調査をしたり議会から審査を任された条例などの議案や住民から提出された請願などを審査する常設の委員会をいいます。丹波市議会には、現在、総務文教常任委員会、民生産建常任委員会、予算決算常任委員会の3つがあります。

2 委員会付託

議会に提出された議案などは、通常、本会議から常任委員会（あるいは特別委員会、議会運営委員会）に審査を託します。これを委員会付託といいます。委員会での審査が終われば、議案等は本会議に戻され採決となります。

議案審議・審査の流れ



市議会つぶやき川柳

読モアイデア☆

市議会に関するつぶやきを川柳に…

あなたの作品で紙面を飾りませんか？

「たんぱりんぐ」では、みなさんからの「市議会つぶやき川柳」を募集しています。
「議会」をお題に五七五の17文字で表現し、議会事務局までお送りください。紙面で紹介された方には、オリジナルボールペンをプレゼント。ご応募お待ちしています☆
〔応募方法〕郵便番号、住所、氏名、年齢、たんぱりんぐの感想をご記入の上、郵送またはファックス、メールで議会事務局までお送りください（宛先はたんぱりんぐ裏面に掲載）。ペンネーム・匿名可。

←ホームページからの応募はコチラ

今月の一句

15年「ココが聞きたい」これからも

たんぱりんぐの「ココが聞きたい！一般質問」を読むと、あたかも議会を傍聴しているようです。荻野雄一郎（氷上地域70代）

真剣な　眼差し見つめ　意見交う

2～4ページで特集している読モ会議では、高校生たちの真剣な眼差しが印象的でした。丹波市議会は、これからもさまざまな世代の方の意見に耳を傾けていきます。（議会人A）

若者の　ユニーク発想　見習おう

読モ会議では、議員にはなかなか思いつかない、若く柔軟な発想が多くあり、たくさんのエネルギーをいただきました。（議会人B）

10月発行たんぱりんぐ59号訂正のお知らせ

「ココがギロンの論点！」に掲載した記事に下記のとおり誤りがありました。

7ページ上段「ギロンの論点！決算をチェック！」
1行目　正：監査委員　誤：代表監査委員

8ページ下段「決議を可決」
1行目　正：冒頭に「9月定例会初日に行われた、」を追加

大変申し訳ございませんでした。お詫びして訂正いたします。

3月の定例会

ぜひ傍聴にお越しください。

日	月	火	水	木	金	土
2/23	24	25 本会議 議案提案 9：30～	26	27	28	29
3/1	2	3 本会議 議案質疑 9：30～	4 総務文教 9：30～	5 民生産建 9：30～	6 予算決算 13：30～	7
8	9 常任委員会 予備日	10 本会議 議案採決（当初予算以外） 9：30～	11	12 本会議 一般質問【代表・個人】 9：00～	13 本会議 一般質問【個人】 9：00～	14
15	16 本会議 一般質問【個人】 13：30～	17 予算決算 9：30～	18 予算決算 9：30～	19 予算決算 予備日	20	21
22	23	24 予算決算 9：30～	25 予算決算 9：30～	26 予算決算 予備日	27 本会議 議案採決（当初予算） 9：30～	28

＊上記の日程は変更になる場合があります。最新の情報はホームページなどでご確認ください。

このまちの「あした」がみえてくる。議会傍聴にお越しください

傍聴される方には、議案書などの資料をお渡ししています。

少し高くなった傍聴席からは、議場全体が見渡せます。

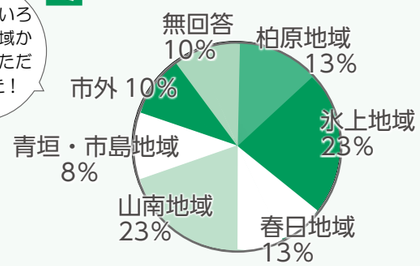
議会フロアには、車いすもご用意しています。事務局までお声がけください。

傍聴者アンケートの結果

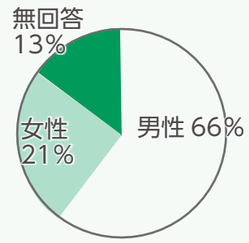
（1月～12月分）　回答数62　※9/8開催の日曜議会分は除く

Q 地域

以前よりいろいろな地域から来ていただきました！

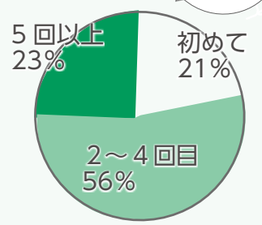


Q 性別



Q 傍聴回数

リピーターが約8割！



Q たんばりんぐで関心ある記事は

1位　特集（20人）
2位　審議結果（18人）
3位　ギロンの論点、一般質問（15人）

Q 傍聴して気づいたこと

＊本会議での議案の多さや実務的に煩雑な手続きを経て行われていることに議員のみなさまや関係者の苦労を知ることができた。
＊議員は行政提案に対する否定からの質問ではなく、肯定からの改善質問を願いたい。
＊議論が大変活発でよい事項、改善すべき点等的確に指摘されている。

※17ページ「知ってる！？ギカイクイズ」の答えは④です。①～③は全部議員の仕事です。

丹波市のココに期待しています！

学生の宿泊費に対する市の補助金があれば、県外からの合宿を招致しやすくなる。

学生が安価で宿泊（合宿）できる宿泊施設があれば。

全国大会規模のスポーツ施設（特に体育館）が少ない。

兵庫県立氷上高等学校 女子バレーボール部

世界は広しといえども丹波市はここだけ！

久下グリーンコーラス

いくつになっても現役で活躍できる場がほしい。

私たちも、丹波市も“ONE TEAM”。もうこれしかないでしょう！

※個人のコメントであり、団体を代表するものではありません。

あとがき

小正月も過ぎて、ようやくお正月の気分も和らぎ始めた今日この頃、皆様におかれましては健やかな新年をお迎えのこととお慶び申しあげます。今年は、いよいよ2020東京オリンピック・パラリンピックが開催され、胸躍る感動が期待されます。

この「たんばりんぐ」も第60号を発刊することができました。これまでいただいた多くのご意見やアイデアで少しずつ「たんばりんぐ」を進化させることができました。これからも、議会の熱気をお伝えできるような紙面づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

（谷水　雄一）

【発行責任者】
議　長　林　時彦
【広報広聴委員会】
委員長　近藤　憲生
副委員長　大西ひろ美
委　員　大嶋　恵子
委　員　吉積　毅
委　員　広田まゆみ
委　員　谷水　雄一
委　員　藤原　悟

発行：兵庫県丹波市議会
編集：広報広聴委員会
〒669-3692 兵庫県丹波市氷上町成松字甲賀１番地
TEL　0795-82-1472
FAX　0795-82-1523
E-mail：gikai@city.tamba.lg.jp